

湘南浦高会通信 第15号

2023年7月28日

注：氏名のあとの（ ）内の数字は高校卒業回数

<総会実施報告>

湘南浦高会第10回総会は、7月8日（土）15：20から藤沢商工会館にて開催されました。浦高同窓会事務局次長の藤野龍宏氏（22）をゲストにお招きして、高11回から高34回までの20名の出席者がありました。



・会長挨拶 平井 隆一（21）

お蔭様で湘南浦高会復活後第10回目の総会を迎えられましたのは、偏にご出席の皆さまのご支援によるもので、心から感謝申し上げます。昨年の講演会は落語家を招きましたが、今日は同窓会本部の藤野事務局次長に「浦中・浦高の歴史」についてご講演いただきます。

2022年度の湘南浦高会の活動は、コロナの影響もあり思うように開催できませんでしたが、コロナが第5類に格下げになったことですので、今年度は活動を活発化したいと考えています。

今回、浦高OBでもある世界的なオーボエ奏者の渡辺克也さん（37）から、本日の湘南浦高会の総会に参加して是非演奏したい、との申し出をいただきましたが、この会場のミナパークでは「打楽器と管楽器は禁止」との規則で止む無く断念いたしました。その代わり9月15日に鎌倉ビックリハウスで別途渡辺さんの演奏会が予定されていますので、後日ご案内させていただきますので是非ご参加ください。

また、地元の動きとして浦高バレーボールの現役が湘南戦を再開しています。私もバレーボール部のOBですので、湘南高校での開催時に応援しております。

・ゲスト挨拶 藤野 龍宏（22）
持参された資料「同窓会からのお知らせ」をもとに下記について報告されました。

- ・麗和会館の大規模改修工事が今夏に実施される
- ・本部総会4年振りに懇親会を開催
- ・体育祭は初めての平日開催（YouTube配信）
- ・ビジネス人材ネットワークが始動（金融麗和会と商社麗和会）
- ・麗和セミナー継続実施中
- ・夏の甲子園埼玉県予選初戦（vs北本高校）に応援団の完全応援付き（7月9日 2-0で勝利）
- ・朝日新聞地域総合欄に「青春スクロール母校群像記・県立浦和高校」が連載26回（2022.09.10~2023.03.25）
- ・今春の大学合格者一覧表（国公立大志向が鮮明）
- ・引き続き寄付金のご協力を、奨学金財団、人工芝化プロジェクト（あと1,000万円未滿に）、ラグビー部事故受傷者支援。優先順位は「人工芝化プロジェクト」が一番とのこと。
- ・総会議事（別紙参照）

【第1号議案】 2022年度活動報告 承認

別紙に基づき、2022年度の湘南浦高会活動が報告されました。昨年度もコロナ禍の影響で活動は総会&懇親会とゴルフコンペのみ開催でした。

【第2号議案】 会計報告 承認

別紙に基づき、2022年度の会計報告が行われました。

【第3号議案】 2023年度活動方針・計画・予算 承認

前年の活動方針を受け継ぎ、今年も (i)地域同窓会組織の確立、(ii)会員相互のコミュニケーション活動、(iii)本部、他地区同窓会との連携、の3つを掲げます。

活動計画については、コロナが第5類に変更になったこともあり、再度活発化したいと考えています。

予算については、従来通り各イベントは単独で収支決算できるように運営するので、特段予算組みは行いませんが、余剰金がある場合は運営費（主に通信費・雑費）に充当させていただきます。

【第4号議案】 会員拡大策 承認

現在の湘南浦高会の会員は、相模湾に面した市町村に在住する卒業生で、しかもメールで連絡の取れる約100名の方々ですが、県西・県央地区（厚木、寒川、海老名、座間、大和、綾瀬、伊勢原、秦野等）もエリアに加えたいと考えています。対象者は約100名で、ハガキにてメールアドレスをお伺いし、会員の母集団

を増やしたいと考えています。

<総会「講演会」報告>

総会の終了後は「浦中・浦高の歴史」というテーマでゲストとしてご参加いただいた藤野龍宏氏(22)に講演いただきました。要旨はつぎのとおりです。

1.校章の制定とその後のデザインの変化(配布資料)



調べてみて分かったことだが、歴史的に校章を誰も管理してこなかったことに驚く。今は上記の「くぼみU字型」のデザインが主流。

白井喜一氏(2)がデザイン。東大の校章も同じ「銀杏」だが、本校の方が一足早かった。

2.浦中・浦高の歴史をスライドと配布資料をもとに説明(配布資料:麗和会館資料展示室のしおり)

- ・埼玉縣第一尋常中学校として鹿島台に開校(明治28~45年)。第二尋常中学校は現熊谷高校(両校の校舎の設計は全く同一)。県南、県北の誘致合戦により2校開校せざるを得なかった。県南では大宮 vs 浦和の誘致合戦もあったが、土地を提供した浦和に軍配。「尚文昌武」は第2代藤井校長の作
- ・大正デモクラシーの時代(大正元年~15年)
浦中初めての全国制覇は剣道部
- ・昭和の浦中時代(昭和元年~22年)
昭和12年春に鹿島台から現在の領家に移転
浦中滑空部(グライダー部)神宮大会初出場初優勝
選抜中学校野球大会に2回出場
耐久競争(現強歩大会のルーツ)及び臨海学校が始まる
- ・新制浦高と浦高ルネッサンス(昭和23年~30年代)
サッカー部国体2回、全国選手権3回優勝、陸上、体操、柔道での全国制覇続く。新入生歓迎マラソンの第1回は昭和26年。第1回湘南戦は昭和32年10月、浦高で開催(平成14年5月の第46回が最後)。浦高祭の第1回キャンパスファイヤーと臨海学校は昭和33年
- ・荒れる学園(昭和40年代)から昭和50年代の安定期へ
昭和42年開催の埼玉国体のためのマッスゲーム練習。

昭和44年卒業式(高21回)は混乱し中断

同年の浦高祭はヘルメットに立て看板が現れ、他校生も交じってデモ集會に

3.今年(2023年)は浦高創立128年(創立明治28年=1895年)

「浦中・浦高沿革史」から抜粋

80周年:記念誌「銀杏樹」発刊

90周年:麗和会館落成

100周年:英国ウイットギフト校と姉妹校提携

110周年:「浦高百年の森」づくり開始

120周年:「浦高同窓会奨学財団」設立、麗和会館

資料展示室リニューアル

<総会後の懇親会実施報告>

梅本 慶三(25)

総会後の懇親会は、コロナ禍でしばらく中断していましたが、昨年復活したのに続き、本年も藤沢駅前の居酒屋で開催しました。

懇親会には当日ご講演いただいた藤野様にも参加いただき、高11から高34までの幅広い年代の方21名の懇親会となりました。

冒頭は平井会長の乾杯で始まりました。1年ぶりの再会でしたが、すぐに各テーブルで懇親の輪が広がり、地元湘南地区の穴場スポット等の話で盛り上がりました。会の途中からは、全員から近況報告が一人3分程度あり、皆さんの多種多様な活動を聞きながら参加者全員で交流の輪を広げることができました。

2時間という短い時間でしたが、大いに盛り上がり楽しい時間を過ごせました。そしてまた来年健康で元気に再会することを誓ってお開きになりました。

<総会等参加者>(敬称略・ゲスト除く)

早野 総和(11)、今井 周一(13)、丑久保克彦(13)
山根 桂一(13)、七海 耕一(14)、芳賀 八郎(14)、
今井 昭信(15)、福田 陽一(17)、吉原英二郎(18)、
今泉 治仁(22)、吉田 学(23)、喜井 博之(24)、
白鳥 芳武(29)、杉村 道明(30)、轟木 俊男(31)
但野 正行(34)、平井 隆一(21)、原田 洋(21)、
鶴塚 芳夫(21)、梅本 慶三(25)、大出 佳和(27)

★ ★ ★ ★

<会員交流イベント実施報告>

<鎌倉散策「極楽寺・成就院・長谷寺を訪ねて！」>

2023年4月15日（土）生憎の雨が降る中、湘南浦高会主催の鎌倉散策会を久しぶりに開催しました。参加者は湘南浦高会13名、他地区から3名の計16名で午前10時に鎌倉駅西口に集合。特に遠く大宮・野田からもご参加いただいたことにより地域間交流が進んだこと、高13回生が16名中6名と多かったこと、最高齢の高10回から最若手の高31回まで21歳差の世代間交流ができたこと、など沢山の交流が生まれました。

毎回ガイドをお願いしている鎌倉ガイド協会幹部の坂本哲夫氏（18）の概要説明からスタート。人数的に2班に分かれる必要があり、もう一人ガイドは熊谷高校出身の梅澤氏でした。

コースは、鎌倉駅→（江ノ電）→極楽寺駅→極楽寺→成就院→御霊神社→長谷寺→（江ノ電）→鎌倉駅でしたが、悪天候が幸いしてどこのお寺も空いていてゆっくり回ることができました。

- 1.極楽寺：真言律宗、創建（正元元年）1259年、開山は忍性、開基は北条重時、本尊は釈迦如来、往時は施薬院・療病院・薬湯寮などの施設があり、医療・福祉施設としての役割があった。
- 2.成就院：真言宗大覚寺派、創建（承久元年）1219年、開山は弘法大師、開基は北条泰時、本尊は不動明王、独特の裸型像「文覚上人荒行像」は彫刻家の萩原守衛に大きな影響を与えたと言われている。また、極楽寺坂切通しの旧道沿いにあり、山門に続く108段の石段を登ると由比ヶ浜の眺望が素晴らしい。
- 3.御霊神社（権五郎神社）：祭神は鎌倉権五郎景昌、「後三年の役」の武勇で知られる。この神社の「面掛行列」は県の無形文化財に指定されている。
- 4.長谷寺：浄土宗、創建（天平8年）736年、開山は徳道上人、開基は藤原房前、本尊は木造では最大級の十一面観音菩薩（9.18m 光背を含めると12m）が本堂に、他に阿弥陀堂、大黒堂、地藏堂、弁天の窟、かきなら稲荷、などもある。紫陽花を初めとする草花と眺望が有名。
- 5.懇親会（ホテル青山1Fレストランにて）：ガイド協会の坂本氏も参加して、昼下がりの昼食会が開催され、地域間と世代間の隙間を埋める交流ができました。さすがの同期の方でも初対面の方々もおられ、若い世代も巻き込んでの和気藹々とした懇親会となりました。

りました。

また次回の鎌倉散策会での再会を期して、別れを惜しみながら各自帰宅の途につきました。



<ゴルフコンペ>

原田 洋（21）

第8回湘南浦高会のゴルフコンペを、2023年5月16日に三島カントリークラブにて実施しました。昨年5月（三島カントリークラブで実施）以来の1年ぶりとなります。

当日はこれ以上の好天はないだろうといった最高のゴルフ日和でした。青空の下で、緑の木々に囲まれ、広々とした芝生の上でプレイをしているだけで、スコアに関係なくゴルフをしていてよかったなあとつくづく思える一日でした。

今回の成績は80台が1名、90台が3名、100以上が2名で、スコアの平均は95.8で前回の98.5より良い結果でした。やはり天候に恵まれたせいでしょうか。



写真左から 平井隆一（21）、榎本孝雄（15）、原田 洋（21）、野原輝夫（15）、天野直行（26）、梅本慶三（25）

かつてゴルフ場は里山の自然を破壊し、農薬で土壌を汚染するといった理由で、批判の的になっていました。しかし最近は様々な環境保全の取り組みがなされ、ゴルフ場の木々や芝生の CO2 固定能力や保水能力は、農地や手入れが不十分な森林よりも優れているといった研究結果も報告されています。ご都合主義だと言われるそうですが、浦高 OB のゴルファーの皆さん、ゴルフを楽しみながら環境改善に貢献しましょう。

★ ★ ★ ★

<会員コラム 執筆者 募集>

*会員コラムは、会員の皆さんどなたがご寄稿いただいても構いません。高校時代の思い出や同期生・同窓生との交流について等をお寄せください。

連絡事項・今後のスケジュール

<会員交流イベント>

- ・第9回ゴルフコンペ 10月24日開催予定
開催2か月前頃にご案内します。

<会員からの紹介イベント> 右パンフレット参照

- ・鎌倉の森の小さなコンサート
9月15日(金) 鎌倉ビックリハウス 3,000円
申込先(先着50名):
平井 隆一 : ryuichi3@jcom.zaq.ne.jp

その他のイベントは決定次第ご案内します。
皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

歴史と緑のまち“鎌倉”のかけがえない景観のために、私達にいまできることは――

鎌倉の森の 小さなコンサート

主催 鎌倉・文化の森
協力 NPO法人 日本古民家保存協会

2023年
9月15日(金)

開場 14:00 開演 15:00
ビックリハウス
3,000円 事前予約制
全席自由席
満席(50名)になり次第 予約は
締め切らせていただきます



渡辺 克也
オーボエ・リサイタル
ピアノ 青木美千香

Program

レインゴルト・グリエール：
" シャンソン" Op.35-3
ユーリイ・ポロヴォロッキー：
フレンチ・ソナタ
アレクサンダー・クリュチャレフ：
3つの小品
ビル・グダラス：ソナタ



青木美千香 (pf)

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

コンサートの収益金は、鎌倉の緑地保全活動支援に使われます。
問合せ先 花俣 email hanamata@jcom.zaq.ne.jp Tel: 090 4070 8655

発行責任者：平井 隆一 (21・会長)

編集責任者：大出 佳和 (27・事務局長)

<別紙・総会資料>

【第1号議案】2022年度の活動報告

2022年度の総会において、活動方針として、引き続き①地域同窓会組織の確立、②会員相互のコミュニケーション活動、③本部・他地区同窓会との連携の3つを掲げましたが、コロナ禍により限られた範囲での活動となりました。

(1) 総会の開催：

- ・2022年7月9日（土）藤沢商工会館にて実施、活動方針・計画の確認 19名参加

(2) 役員会の開催：

- ・コロナ禍の中オンラインで適宜開催

(3) 会員交流イベントの開催：

- ・2022/5/10：第7回ゴルフコンペ開催 10名参加
三島カントリークラブ
- ・2023/4/15：鎌倉散策（極楽寺、長谷寺等）16名参加
- ・2023/5/16：第8回ゴルフコンペ開催 6名参加
三島カントリークラブ

(4) 会員懇親会の開催：

- ・2022/7/9：総会后 18名（含むゲスト2名）
- ・2023/4/15：鎌倉散策後 15名（含む他地区参加者3名）

(5) 「湘南浦高会通信」の発行：

- ・第14号（2022/7/28発行）
メールアドレスが登録されている会員へ発送。

【第2号議案】2022年度の会計報告

1. 繰越金 前年度繰越金	53,143 円
2. 会費 総会・懇親会等	97,000 円
3. 雑収入 本部からの祝金等	10,000 円

収入計 160,143 円

1. 総会 会議室使用料	13,420 円
2. 総会 飲み物代、資料コピー代等	3,893 円
3. 総会 講師謝礼	50,000 円
4. 総会 本部お車代	5,000 円
5. 懇親会 飲食代「庄や」	66,800 円

支出計 139,113 円

差引残高（次年度繰越金） 21,030 円

【第3号議案】2023年度の活動方針・活動計画・予算

1.活動方針

- (1) 地域同窓会組織の確立
- (2) 会員相互のコミュニケーション活動
- (3) 本部、他地区同窓会との連携の3つを推進して行きます。

2.活動計画

- (1) 総会の開催：7/8（土）藤沢商工会館にて実施
- (2) 役員会の開催：適宜、役員間の懇親、イベント準備
- (3) 会員交流イベントの開催：
 - ・ハイキング、散策等：コロナ後の最初のイベントとして鎌倉散策を実施（4/15）。さらに12月にも鎌倉散策を予定（当面は湘南地区が中心）
 - ・ゴルフコンペ：春、秋の年2回開催を目標。
春（5/16開催済）、秋（10/24予定）
 - ・工場見学会：是非年1回は実施したい。
 - ・その他、趣味の会等の開催を模索したい。
- (4) 会員懇親会の開催：会員相互のコミュニケーションの推進
 - ・懇親会の開催はコロナ禍の状況を確認しながら開催を検討。イベントの終了後にできる限り懇親の機会を設定する。
- (5) 「湘南浦高会通信」の発行：年2回発行（7月、1月）
- (6) 地域・職域同窓会責任者会議への出席：
- (7) 他地区との交流を促進
 - ・春日部地区同窓会の会報「喫茶去」は継続配信。
- (8) 地域貢献・ボランティア活動
 - ・どのような貢献が可能かを模索し実施に移すべく検討したい。

3. 予算

- ・各イベントは単独で収支決算できるように運営するので、特段予算組みは行わない。
- ・各イベントにおける残金は、湘南浦高会運営費（主に通信費・雑費）に充当させてもらう。

【第4号議案】会員拡大策

現在、湘南浦高会は相模湾に面した市町村に在住する同窓生のうち、Eメールで連絡の取れる約100名余りの方を対象に連絡をとっています。その中で少しでも関心を示してくれる方は約半数というのが現状です。会員拡大策として、県西・県央地区（厚木、寒川、海老名、座間、大和、綾瀬、伊勢原、秦野等）の同窓生の方々にも呼びかけをしたいと考えております。対象は約100名で、はがきで連絡して興味のある方はEメールで事務局宛に連絡をいただくようにしたいと思います。その方々に湘南浦高会のイベント案内を送付して、会員の母集団を少しでも増やしたいと考えています。年内に声掛けはしたいと考えております。

以上